

# 町長室から

越生町長  
新井 康之



## 初日の出に誓う

令和6年の初日の出を、越生10名山の「弘法山」で迎えました。凜とした寒さの中、天空は澄み渡り水平線が徐々に朱色に染まると、やがて神々しい太陽が昇り始めました。その太陽に向かい、町民の皆様のご健康とご多幸を祈り、また「安心して住める元気な越生町」を創るため全力を尽くすことを誓いました。



▲初日の出

## 清和学園 特産物でチョコレート作る

清和学園高校（越生町上野東）の調理科ではマスター・ハイスクール事業の一環として、越生町の特産物（梅・柚子及び栗）を使ったチョコレートを開発しました。昨年11月29日に同校でそのプレゼンテーションを含めた試食審査会があり、その審査にあたりました。

梅や柚子はチョコレートとは相性が良くなく、良い製品が作れないと思っていましたが、生徒が一生懸命開発したチョコレートはどれも美味しく驚きました。そして生徒の皆さんが越生町の魅力の発信と梅・柚子の販売単価を上げるため真剣に取り組んでくれていることに感動しました。

なお、同校によると梅、柚子、栗の各部門で最優秀に選ばれたチョコレートを、3個組でバレンタインデー前の2月10日～12日に、当町のうめその梅の駅、都内及び川越市内において数量限定で販売する予定とのことです。



▲審査の様子

## 能登半島地震発生

1月1日能登半島地震が発生しました。亡くなられた皆様、また被災されました皆様に、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

4日に仕事始め式を行い、大きな地震が新年早々発生した。緊張感を更に強め、職務に専念するように訓示しました。そしてこの地震に関し、職員募金の送付し、これとは別に越生町として義援金を贈ることも決定しました。その他募金箱を町内の6箇所に設置しました。

なお、職員1名を石川県七尾市に災害派遣しました。また、技術職員と水道課職員計2名を派遣の準備をした他、被災者の避難所として、町営住宅を提供することも決定しました。(1月22日現在)

## 県懇談会で親交を深める

「県と市長会・町村長会との新年懇談会」が1月10日さいたま市の知事公館で行われました。

この会は埼玉県が主催、知事他副知事・部長等県の幹部が出席して、市町村長会からは県内のほとんどの市長・町村長が出席します。この会で私は多くの県の幹部と懇談して親交を深めました。中でも砂川副知事と話している中で、高校の同窓であることがわかり、お互いに親近感を持つことができ、人脈の輪が更に広がりました。また、私と同姓同名の新井康之宮代町長とも情報交換をしました。全国で1700を超える自治体がある中で、同姓同名の首長は我々2人だけのためか、大野県知事も覚えてくれています。この日の懇談会で更に多くの人と親交を深めたので、今後の町政に活かしていきます。



▲新井康之宮代町長、大野県知事、新井康之越生町長

## 子育ての窓

子どもの医療費無償化事業  
越生町では、18歳に達する年度末まで全ての子どもの医療費の助成を行っています。



子育て支援課ホームページ▲



▲梅園小学校 吉原央人 議員

私は越生町をよくするために、人口を増やしていくことが大切だと考えます。現在、越生町では人口が減ってきており、閉店するお店も増えてきていると感じています。そのため、インターネットのショッパで越生町の特産物を販売し、越生町の魅力を発信することで、人口が増え、すてきな町になるのではないのでしょうか。

### 【答弁】

越生町には「黒山三滝」や「上谷の大クス」など数多くの観光名所があります。また、「梅」や「ゆず」は広く知られており、町外からもお買い求めになる方がいます。しかし、越生町まで足を運ぶのが難しい方にも提案のあったインターネットショッピングなら、全国各地に住んでいる方にもお届けすることができ、越生町のPRにも繋がると考えています。現在、越生町ではSNSの活用をはじめ、開店経費の一部を補助する「越生町起業家応援事業補助金」制度を10月より開始しています。今後この制度を活用する人が増え、賑わいのある町になり、住みたいと思ってくれる人が増えることを期待しています。

# 子ども議会の様子

